

# ちはる先生

\* わたしの大切なもの \*

## 「手作りのバック」



私の大切な物は「手作りのバック」です。知人に手の器用な人がいて、私に子供が生まれると出産祝いにと手作りのバックをプレゼントしてくれました。不器用な私は手作りの物をもらっても嬉しかったです。肩にかけるタイプで、様々な物を入れるポケットが両面についています。子供が小さい時、そのバックに子供の着替え等を入れていつも持ち歩いていました。同じ柄の哺乳瓶入れもあり、一緒に使っていました。子供が大きくなり、今では私用に使っていますがそのバックを見る度に子供が小さかった時の事を思い出します。

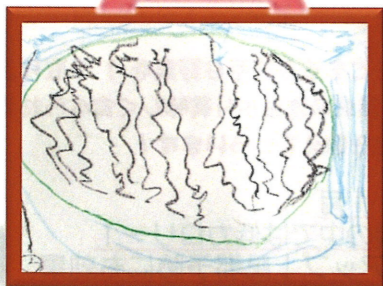
私の子供の成長に合わせてその知人はズック袋や絵本袋等も作ってくれました。まるで母親のようでした（笑）又、私が使うバックも作ってくれました。その一つひとつが思い出のある物ばかりです。「世界に1つだけの物」なので、これからも大切に使いしていきたいと思っています。



2歳児の K くん。図鑑にのっているモンシロチョウを指さして・・・

K くん「せんせーみて！おもしろちょうだよ」

2歳 男児



4歳 男児



5歳 男児



2歳児クラスで避難訓練の際に「お・か・し・も」のお約束の話をする・・・

H くん「おかし たべるー」

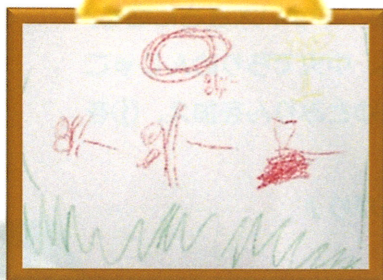
S ちゃん「おかしはたべちゃだめ！」



カラカラになってしまったかたつむりをみんなで見ていると、3歳児の R くんが・・・

R くん「かたつむり、なめくじにへんしんしたんじゃない？」

3歳 男児



……ぶっくえんど……

先日、ふと久しぶりに息子（小学5年生）と背比べをしてみました。いつの間にか、わたしの肩近くまで大きくなっていました…。足も合わせてみると、なんと！ほぼ同じ！！私、女性では足大きい方なんですがすでに追いつかれてしまっていました。'お下がり'ではなく、'お上がり'をもらう日は近そうです（笑）

ぶらんこ担当 坂野 春佳

# ぶらんこ

第95号 2020年9月24日

松ヶ岬保育園

〒992-0059

米沢市西大通1丁目6-56

TEL21-0349/FAX21-0369

E-mail matsuga@smile.ocn.ne.jp

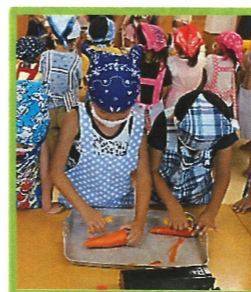
http://www.syogokai.jp/matsugasaki/



おみこしかつぎ



すいか割り



調理実習をしました！  
～ カレー作り ～

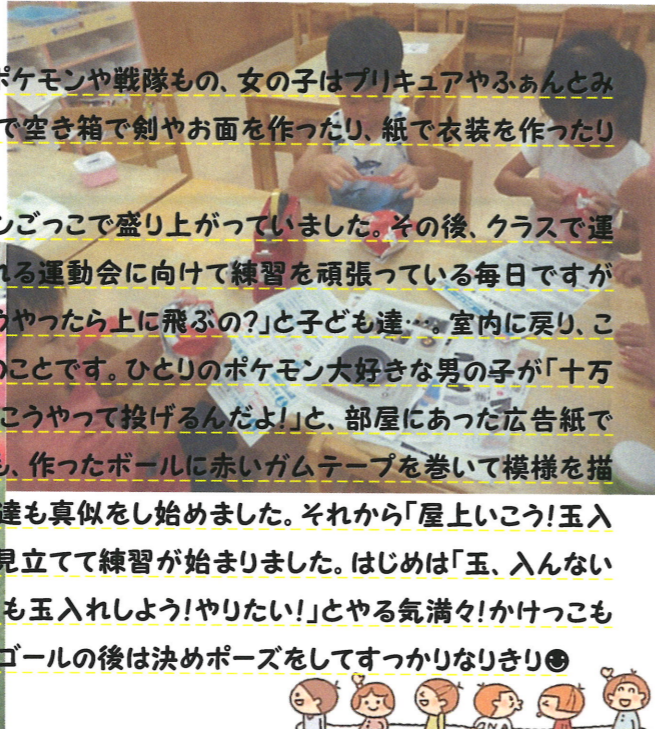


# うちのクラスが オリジナルな あそび♪

## 4歳児・きいろくみ 「なりきり 見立てあそび」

4歳児クラス17名の子ども達…。男の子はポケモンや戦隊もの、女の子はプリキュアやふぁんとみらーじゅが今のフーム!なりきりごっこが大好きで空き箱で剣やお面を作ったり、紙で衣装を作ったりして楽しんでます。

ある朝の時間、男の子数名が集まりポケモンごっこで盛り上がっていました。その後、クラスで運動会練習をした時のことです。もうすぐ行われる運動会に向けて練習を頑張っている毎日ですが「かけっこ早く走れない!」「玉入れの玉ってどうやったら上に飛ぶの?」と子ども達…。室内に戻り、これからどうやって練習しようか、と話をした時のことです。ひとりのポケモン大好きな男の子が「十万馬力で走る!」「(玉入れ)モンスターボールってこうやって投げるんだよ!」と、部屋にあった広告紙でモンスターボールを作り始めました。そこで私も、作ったボールに赤いガムテープを巻いて模様を描いて…と一緒に作っているうちに周りの子ども達も真似をし始めました。それから「屋上いこう!玉入れしよう!」と玉入れの玉をモンスターボールに見立てて練習が始まりました。はじめは「玉、入らない…嫌だ」と諦めていた子ども達も今では「今日も玉入れしよう!やりたい!」とやる気満々!かけっこも「ゼロワンみたいにかっこよく走る!」と言ったり、ゴールの後は決めポーズをしてすっかりなりきり運動会が楽しみです。



## ちっちゃい頃の 思い出

お父さん、お母さんがちっちゃい頃はどんな子どもだったのかな?どこでどんな事して遊んでいたのかな?思い出のエピソードをご紹介します!

猪野 結太くんのお父さん  
猪野 智さん

自分が覚えている息子の結太くらいの頃の思い出は、ダンプやパワーショベルなど働く車が好きでした。家の近くにある鬼面川でよくダンプが通る所を見に親や祖父母に連れて行ってもらった記憶があります。

もう一つがロボットが好きでした。兄弟と一緒にブロックで遊んでいた記憶があります。親や祖父母におねだりして買ってもらう…。今でも何個か残っています。

結太もロボットが好きで、自分の子供の頃のおもちゃで遊んでる姿を見ると「やっぱり自分の子供なんだなあ」と思う時が多々あります。

凄いなと思うのが『ブロックでロボットを作る時』です。自分が子供のときはただロボットを普通に作って遊んでいるだけでしたが、結太はその自分たちが使っていたブロックを使い、変身するロボットをいとも簡単に組み替えて作ります。例えばロボットの形から、「こうやって変身するんだよ!」と言って、少し形を変えて恐竜や他の動物の形にしてみたりと、大人には想像もつかないような素晴らしい才能だなあと思います。

最後に、この企画を通して、自分のアルバムを家族と見返しながら、忘れていた記憶や子供の時沢山の愛情を注いでもらった思い出と触れ合えて感慨深い気持ちになりました。息子にも沢山の楽しい思い出を家族と作ってあげなくては!と。親としてますます頑張らないとなと一層身を引き締める良い機会になりました。



お父さん



結太くん

## 我が家のベストショット



ちゆきちゃんのママ (ぴっころ)  
長谷川 理美さん

ベストショットが日々更新されてしまうため、記事を書いては消しを繰り返しました…。最終的にどれにしようかと悩みつつ最近のベストショット、某麦茶の広告塔です(笑)

場所は今年何度もお世話になった直江石堤公園。初めて芝生の上を裸足で歩き回りました。はじめはチクチクした感覚に戸惑っているようでしたが、すぐに慣れてニコニコと父母のあとを追いかけてたり追いかけられたりしてはしゃいでいました。

お出かけの際、自分の飲み物があるにも関わらず、母のペットボトルを狙います。冷たいものを触っているのが心地よいのだろうと推測していますが、実際に冷たい飲み物を飲むことは苦手です。母から奪ってからは余程別のことに気が取られない限りは離してくれません。この日も歩きにくいかと思ひ、途中で受け取ろうかと思ひましたが唸って怒られました。結局、水遊びをするために川に入るまで手を離してくれませんでした。

あまり物怖じもしない娘なので、どんどん新しい場所、物に触れて経験を積んでほしいなと思っています。家の中では経験できない、川の流れや地面を裸足で歩く感触、落ち葉や砂利を持つ感覚等、自然に触れてのびのびと楽しんでくれたらいいなと思います。

遠出もままならない日々が続いていますが、限られた中でもできること、やれることに沢山挑戦しながら、これからもシャッターチャンスを見逃さずに我が家のベストショットを更新していこうと思います。



## 「エッ!?ほんと?」 野菜のおいしい食べ方おしえて!!

子ども達が苦手な野菜を1つ取り上げ、給食の先生より美味しく食べられる方法を教えてもらいます!

今回のテーマは…。

里いも

- ◇ おいしい時期は9月~11月
- ◇ 水分が多いので、イモ類の中では低カロリー!
- ◇ 脳細胞活性化!免疫力アップ!風邪予防にも効果抜群☆の栄養成分が入っていますよ。

## イチオシ★レシピ

芋煮だけじゃない!?炒めてみましょ~♪

### 里いものじゃこバター炒め



<材料>

- ・里いも (皮付き)
- ・ちりめんじゃこ
- ・バター
- ・しょうゆ
- ・みりん
- ・万能ネギ

- ① 里いもはよく洗って水切りし、ペーパータオルを敷いた耐熱皿にのせてラップをし、レンジで7~8分加熱する。熱いうちに皮をむいて食べやすい大きさに切る。
- ② フライパンにバターを溶かし、中火でちりめんじゃこを炒める。火を弱めてしょうゆとみりんを加え、①を加えて味をなじませます。
- ③ 万能ねぎをちらせば、できあがり♪